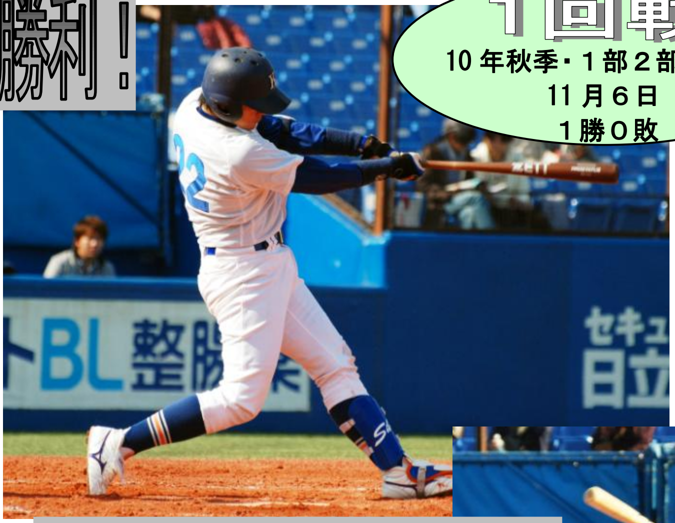
入替戦先勝!!

投打の主力が魅せた

1回戦
10年秋季・1部2部入替戦
11月6日
1勝0敗

白崎勇、今季完封勝利！

4安打完封を成し遂げ、吠える白崎勇



【下】ダメ押しの左越本塁打を放った笠間

【左】3打数2安打2打点と大活躍の上村新

主将・副主将の2HR！

写真＝菊池美紀、田上慧、丸山翔太
文＝堀江あゆみ

国士大	０００	０００	０００	０
駒　大	００１	０２１	００x	４

国士大０－４駒大

3年ぶりの神宮球場。入替戦という大舞台でエース・白崎勇気(営3)が貫録のある投球をすると、打線は本塁打2本を含む7安打4得点。4年生が全打点を叩き出すという意地を見せ、1部復帰へ王手を懸けた。

待ち望んだ入替戦。「2部優勝は通過点にしかすぎない」と、監督・選手が口をそろえて言う中、今までチームを引っ張ってきた4年生のバットが火を噴いた。

同点で迎えた3回、まずは今季スタメン落ちを経験し、苦しんだ上村新(営4)が左越本塁打を放ち先制。5回にも1死一塁から右中間適時二塁打を放ち2点目を挙げた。

さらに5回、2死一、二塁の場面で赤木義英(営4)の右前適時打が飛び出すと、とどめの一打は主将が放った。チームを支え、今年初の4番に座った笠間将裕(商4)の左越本塁打で4点差。「追加点のほしい場面で打てて良かった」と、4番としての仕事を果たした。

最上級生の援護を受けた白崎勇も快投。「立ち上がりは上ずっていた」と話すが、気づけば4安打完封。今季成し遂げられなかった完封を入替戦の大舞台で達成した。

1部昇格へあと1勝。小椋正博監督も「とにかく明日」と既に先を見据えていた。笠間も「明日決めて、神宮でやる権利を後輩に残してあげたい」。

有終の美に向け、やるべきことは勝利をつかみ取るだけだ。

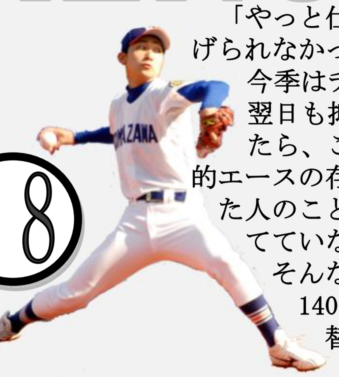
【駒　大】	打安点
⑥　岡	４１０
④赤　木	３１１
⑤白崎浩	４００
③笠　間	３２１
⑦山　下	３１０
R7 中 谷	０００
DH 山 本	２００
HD 北 畠	１００
HD 長 内	０００
HD 森 田	１００
⑧小　林	３１０
②上村新	３２２
⑨奥　野	２００
H9 嘉数駿	１００
計	30８４

▽二塁打＝上村新
▽本塁打＝笠間、上村新

	回	打安責
○白崎勇	９	29４０

５回、右前適時打で追加点を挙げた赤木

HEROES～白崎勇気～



18

「やっと仕事ができた。うれしい」と、笑顔を見せた白崎勇気(営３)。今秋のリーグ戦では成し遂げられなかった完封を入替戦初戦という大一番で果たした。

今季はチーム最多の10試合に登板。１戦目の先発を任され、完投で140球以上を費やした試合の翌日も抑えに回るなど、常にフル回転だった。副主将・加茂勇作(国４)も、「白崎(勇)がいなかったら、このチームは多分勝ってない」と語るほど、チームメイトからの信頼を集めている。絶対的エースの存在を十分示しているが、自らはエースという言葉を口にしない。「エースって結果を残した人のことだと思う。僕は初戦(拓大１回戦)も優勝決定戦も…勝たなきゃいけない大事な試合を勝てていない」。何試合も勝利に貢献しているが、並々ならぬ責任感を背負っていた。

そんな中、神宮で迎えた“大事な試合”を完封で勝利に貢献。三振こそ２つと少なかったが、140㌔前半のストレートを軸に相手打線を４安打に封じこめた。大きな白星を手にしたが、「入替戦に勝ったわけじゃない。明日も投げるつもり」と気を引き締めた。“エース”が見据える先は１部の舞台だけだ。（桝島　知佳）